

第49回 日本消化器がん検診学会中国四国地方会 第49回 中国四国胃集検の会

「消化器がん検診の未来を見据えて－高精度で最適な検診の追求を－」

《 演題募集のご案内 》

謹啓

会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、第49回日本消化器がん検診学会中国四国地方会・第49回中国四国胃集検の会を下記の通り開催いたします。多数の方々のご参加くださいますようご案内申し上げます。
また、演題募集につきましては、下記要領にて多数のご応募をお待ち申し上げます。

謹白

会長：謝花 典子（労働者健康安全機構 山陰労災病院 消化器内科）

会期：平成30（2018）年12月8日（土）・9日（日）

会場：鳥取県健康会館（県医師会館）

〒680-8585 鳥取県鳥取市戎町3 1 7 番地 TEL：0857-27-5566 FAX：0857-29-1578

- ・特別講演1「内視鏡検診とその後」12月8日
演 者；芳野 純治（名古屋ビルセントラルクリニック 藤田保健衛生大学名誉教授）
- ・特別講演2「胃がんX線検診における読影判定区分の勘所」12月9日（放射線技師研修会）
演 者；伊藤 高広（奈良県立医科大学 放射線医学教室）
- ・教育講演「スクリーニングUSとPoint of care US」（超音波研修会）
演 者；孝田 雅彦（鳥取県日野病院 内科）
- ・会長講演「米子市の胃がん検診 現状とこれからの課題－歩みを顧みるとともに－」
演 者；謝花 典子（労働者健康安全機構 山陰労災病院 消化器内科）
- ・特別企画 Q&Aコーナー：対策型胃内視鏡検診について
講 師；濱島ちさと（帝京大学 医療技術学部 看護学科）「対策型検診の基本理念」
- ・ランチョンセミナー「大腸腫瘍内視鏡診療の最前線」
講 師；田中 信治（広島大学大学院 歯歯薬保健学研究科 内視鏡医学）

【演題募集】

- ・シンポジウム（公募）「消化器がん検診体制における諸問題と今後の展望」

日本人のがん死亡の約5割は消化器がんであり、検診の普及により死亡率を減少させることが急務です。胃がん検診では、胃内視鏡検診や胃がんリスク層別化検査(ABC分類)の導入が始まっています。早期胃がんの発見のみならずH. pylori 感染診断とその後の除菌療法への誘導も求められています。さらに大腸がん、膵臓がんは死亡数の割合が増加しており、非アルコール性脂肪肝炎(NASH)由来の肝臓も重要な課題です。こうした現状を踏まえ、消化器がん検診体制を振り返り、今後に繋げる必要があります。検診を行っている施設はもちろん、今後、取り組みなどを考えられている施設や組織から幅広い発表を期待しています。

- ・Q&Aコーナー：前もってのご質問やご意見なども募集いたします。

- ・一般演題(公募)

- ・症例検討会(公募)：胃がん検診で発見された症例のうち貴重な症例，教訓的な症例，診断困難例など

*：第49回中国四国地方会に併せて、平成30年度中国四国支部医師研修会，超音波研修会ならびに放射線技師研修会を開催します。

【シンポジウム・症例検討・一般演題 演題申し込み要領 Q&Aについて】

- ① シンポジウム・症例検討・一般演題 区分
- ② 演題名
- ③ 発表者（演者に○とフリガナをつけてください）
- ④ 所属機関名（全員分）
- ⑤ 400字以内の抄録
- ⑥ 演者の連絡先住所 電話番号 Fax 番号 E-mail アドレス

①～⑥についてデータ（Microsoft Word で作成されたもの）を E-mail の添付ファイルにて下記アドレスまでお送りください。受領確認は E-mail にて行います。尚、Q & A の質問応募にも、所属、名前、連絡先住所、電話番号、Fax 番号、E-mail アドレスをお願いいたします。

演題申し込み後、1 週間を経過しても受領確認のメールがない場合は、お手数をおかけしますが、事務局までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

- ◇ E - m a i l : shoukaki49@tottori.med.or.jp
- ◇ 募 集 開 始 : 平成 30 (2018) 年 7 月 18 日 (水)
- ◇ 募 集 締 切 : 平成 30 (2018) 年 9 月 10 日 (月)

【発表形式】

- ・ 一般演題の発表時間は 5 分、質疑応答時間は 2 分の予定です。発表時間は必ずお守りください。
- ・ 発表は全て PC によるプレゼンテーションとさせていただきます。会場にご用意いたします PC は Windows で、プレゼンテーションソフトは、PowerPoint です。
ご発表データにつきましては、PowerPoint 2007～2016 で作成し、ご自身の PC でお持ちいただくか、CD-R または USB メモリーでお持ちください。
- ※ メディアを介したウイルス感染の可能性がありますので、最新のウイルス駆除ソフトで事前にチェックをお願いいたします。また、万一の事態に備えて必ずバックアップデータを用意して頂きますようお願いいたします。
- ・ 音声の使用はできません。
- ・ 動画を含む場合または Macintosh をご利用の方は、ご自身の PC 本体をお持ち込みください。枚数制限はありませんが、発表時間を必ずお守りください。発表データに参照ファイルがある場合は、全てのデータ（PowerPoint・リンクファイル等）を同じフォルダに入れて保存してください。

【PC を持ち込まれる方へ】

- ・ 会場に用意する PC ケーブルコネクタの形状は、標準の D-sub15pin のみですので、この出力端子をもつ PC をご用意いただくか、変換コネクタをご持参ください。
また、バッテリー切れを防ぐため、電源アダプターを必ずご持参ください。

【データを持ち込まれる方へ】

- ・ メディアに発表用のデータ以外はいれなくてください。
- ・ 作成後、他の PC で正常に動作することをご確認の上、ご持参ください。
- ・ フォントは MS ゴシック・明朝、MSP ゴシック・明朝などの標準フォントをご使用ください（これ以外のフォントを使用した場合は、文字・段落のずれ、文字化け、表示されないなどのトラブルが発生する可能性があります）。
- ・ 圧縮ファイルはご遠慮ください。

【利益相反（COI）の開示について】

- ・ 発表者は、消化器がん検診学会「医学研究の利益相反に関する指針」に従って、利益相反に関して開示をお願いいたします。（参照：<http://www.jsjcs.or.jp/about/coi/index>）
- ・ 発表当日のスライドでも、利益相反について開示を御願いたします。
（参照：<http://www.jsjcs.or.jp/about/coi/slide.html>）

【倫理指針について】

- ・ 学術集会、学会誌など本学会を通じて公表される研究成果は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省、厚生労働省）を遵守して行われた研究に基づいていることが義務付けられました。演題応募の際には、「演題応募における倫理審査」を参照ください。
（倫理審査要・不要の確認 参照：日本消化器がん検診学会ホームページ 演題応募における倫理審査）

【事務局（お問い合わせ先）】

第 49 回日本消化器がん検診学会中国四国地方会 事務局
鳥取県健康対策協議会 担当：岩垣 陽子 神戸 将浩
〒680-8585 鳥取県鳥取市戎町 3 1 7 番地 県医師会館内
TEL：0857-27-5566 FAX：0857-29-1578 E-mail：shoukaki49@tottori.med.or.jp
主催：労働者健康安全機構 山陰労災病院 消化器内科 TEL：0859-33-8181(代) FAX：0859-22-9651